

# VI 計画策定経過など

## 第1 計画策定経過

### 1 第3次発展・強化計画策定委員会

(1) 委員名簿（任期：令和元年9月1日から計画策定終了まで）－順不同・敬称略－

No.	区分	氏名	役職	所属／役職
1	本会会長が必要と認めた者	田中英樹	委員長	東京通信大学人間福祉学部 人間福祉学科教授
2	本会評議員	大野 康	副委員長	多職種連携座談会飯能・日高 地区ワールドカフェ副会長
3	本会理事	和田 毅		飯能市自治会連合会会長
4	本会理事	野村五郎		飯能市ボランティアセンター 運営委員会委員長
5	本会評議員	佐藤智恵美		合同会社悠にこにこハウス 代表役員
6	関係行政機関職員	中村孝一		飯能市健康福祉部地域・生活 福祉課長

(2) 委員会開催経過

開催回数	開催日	主な協議内容
第1回	令和元年9月25日	・ 第2次発展・強化計画の振り返り ・ 第3次発展・強化計画の目的と策定スケジュール
第2回	11月20日	・ 検討の進捗状況および課題別の検討内容 ・ 第3次飯能市社協発展・強化計画の全体像
第3回	12月20日	・ 第3次飯能市社協発展・強化計画（案）について

## 2 職員プロジェクトチーム

### (1) 職員プロジェクトチームの設置

本計画作成のために職員によるプロジェクトチームを設置した。

職員プロジェクトチームを、本計画策定を通じた“学びの場”“人材育成の場”とするために、主任級以下職員を対象に主体的に参加を希望するメンバーを募集したところ、6人の職員から応募があり、計10人による職員プロジェクトチームとした。

### (2) 職員プロジェクトチームのテーマ

職員プロジェクトチームのメンバーがより主体的に本計画策定に関われるよう、以下のテーマを掲げて、組織の発展・強化に関する課題についての検討等に取り組んだ。

テーマ「より広く、より深く、より良く」

自身の係（担当）の枠を超えて活動について理解を広める。組織の経営に対する理解を深める。

### (3) メンバー

No.	氏名	職名
1	大野 悟	事務局長
2	双木和宏	事務局次長
3	本村 洋	主幹
4	田沼大悟	主任
5	島崎孝則	主任
6	宮澤敬行	主任
7	梅木裕也	主任
8	黒澤太輔	主事

9	亀崎祐也	主事
10	渡辺知子	主事補

#### (4) 開催経過

開催回数	開催日	主な協議内容
第1回	令和元年9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次発展・強化計画のコンセプト</li> <li>第2次発展・強化計画の振り返り</li> <li>第1回計画策定委員会の運営</li> </ul>
第2回	10月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回計画策定委員会の振り返り</li> <li>第3次発展・強化計画の検討に関する役割分担</li> <li>ワークショップのテーマと運営方法</li> </ul>
第3回	10月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画（案）づくりの検討</li> <li>ワークショップのテーマと運営方法</li> </ul>
第4回	11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画（案）づくりの検討</li> <li>計画の全体的な枠組み</li> </ul>
第5回	11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回計画策定委員会の資料および運営（役割分担等）について</li> <li>計画（案）づくりの検討</li> </ul>
第6回	12月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に掲げる「取組み内容・事項」について</li> <li>計画の実行性を高める方法について</li> </ul>
第7回	12月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画（案）について</li> <li>第3回計画策定委員会の運営について</li> </ul>
第8回	令和2年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画（案）について</li> </ul>
第9回	2月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画（案）について</li> </ul>

上記のほか、職員プロジェクトチームのメンバーが2グループに分かれての協議を合計11回開催した。

### 3 主査以上会議

12月9日 第2次発展・強化計画から継承すべき取組みについて検討した。

## 4 職員ワークショップ

10月25日 出席人数19人

### (1) 職員ワークショップのテーマ

各職員の仕事から見える飯能市民の生活福祉ニーズ

### (2) 目的

- ・ 本計画策定の基礎となる「市民の生活福祉ニーズ」を本会職員が仕事の中で関わった事例から抽出する。
- ・ 今後5年間をかけて本会が改善、強化、充実していった方が良いこと（機能や役割など）を集約する。

### (3) 検討結果

26事例を抽出して分析した。

[事例の傾向など]

- ・ 幅広い年齢層を対象としている。
- ・ 世帯状況が多様である。
- ・ 障害福祉（主に精神障害）に関する相談が増加している。
- ・ 既存の制度だけでは支援困難な事例が多い。
- ・ 専門機関連携によるチームアプローチを必要とする。

### (4) 検討結果の分析と本計画への反映

高齢者（世帯）を対象とした取組みが多い傾向があるが、抽出された事例では、幅広い年齢層や多様な世帯に対する支援の実態が浮き彫りになった。

また、精神障害分野に関する相談や既存の制度だけでは支援が困難な事例の増加していることも確認することができた。その結果、これらの生活課題を抱えた市民に対する支援を適切に行うために、職員がさらにスキルを向上させていくことの必要性を共有することができた。

そこで、本計画では、「ニーズ分析会議」の設置による市民の生活福祉ニーズの検討と新たな取組みの開発、さらには職員育成計画の見直しや事例検討会の定期開催等によって職員の資質の向上を図ることとした。

## 5 職員アンケート調査

### (1) 調査の概要

実施期間 10月3日から11月8日

対象者数 49人（常勤職員23人、非常勤職員26人）

回答者数 26人（回答率53.1%）

### (2) テーマ

「働きがい、やりがいの向上」

### (3) 質問項目

- ・ 組織や上司への信頼や尊敬
- ・ 自分の仕事や組織に対する誇り
- ・ 一緒に働いている職員との連帯感 等

### (4) 調査結果の反映

調査結果を踏まえ、本計画では「業務の合理化・効率化」や「働きやすい職場づくり」を課題に掲げ、業務の標準化やICTの活用、職員の健康と安全確保に向けた取組みの充実等を図ることとした。

第2 「第3次はんのうふくしの森プラン」における社協事業の実施計画（「社協の重点取組み」のみを抜粋）

基本目標	基本施策	施策内容	重点目標に位置づいている「具体的な施策内容」	「社協の重点取組み」に位置づいている取組み	主な取組み	具体的な取組み内容	年次計画						
							令和1（2019）	令和2（2020）	令和3（2021）	令和4（2022）	令和5（2023）		
	1 地域コミュニティづくり	(1) 気がるに声をかけ合う地域づくり			あいさつや見守りに関する取組を周知	あいさつ活動の周知	啓発品の作成、配布	—	—	—	—		
						身近な見守りに関する周知	啓発品の作成、配布						
						自治会などと連携、協力	地域団体への支援、協力	出前講座のメニュー作成					
							地域団体間の連携支援						
	2 福祉学習の推進	(1) 学校などにおける多様な福祉学習の推進				社会福祉協力校及びボランティア推進校事業の充実	（福祉学習）補助事業の見直し	要綱の見直し					
						交流、体験を織り交ぜた多様な福祉学習の推進	福祉学習メニューの充実	福祉学習プログラムの更新					
								ゲストティーチャーの発掘					
							社協事業の活用		パラスポーツ体験の学校への出張開催				
						教職員の多様な福祉学習に関する理解を促進	教員向け説明会、研修会の開催						
							実践事例の紹介	支援内容を事例として紹介（実施までの流れ等）					
地域福祉推進組織及びボランティア団体、福祉関係事業所などに福祉学習への協力を呼びかけ	地域福祉推進組織等団体への協力呼びかけ	社協の全部署から呼びかけ											
	福祉関係事業所への協力呼びかけ	社協の全部署から呼びかけ											
	ふくしの森サポーター、認知症サポーターの活用	認知症サポーター養成講座修了者への協力呼びかけ											

基本目標	基本施策	施策内容	重点目標に位置づいている「具体的な施策内容」	「社協の重点取組み」に位置づいている取組み	主な取組み	具体的な取組み内容	年次計画						
							令和1(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)		
基本目標1【知】 お互いを知り合う・わかり合う機会をつくる	(2)	地域における福祉学習の推進			地域福祉推進組織などが実施する講座やイベントを支援	CSWによる支援	—	—	—	—	—		
						情報提供							
						補助制度(地域福祉推進組織除く)		幼稚園やVG等が地域の交流を目的とした事業や福祉学習を行う際の補助制度の検討					
						パラスポーツの普及		障害者スポーツ指導員の活躍の場を提供(関係機関との調整)					
						認知症や障害への理解などに関する講座やイベントを実施		自治会、特別会員へ出前講座の実施		出前講座のメニュー作成			
						キャラバンメイトの育成		社協職員のキャラバンメイト資格取得の促進		地域福祉推進組織等へキャラバンメイト資格取得の促進			
	3	情報の発信と共有	(1)	多様な媒体によるわかりやすい情報の発信と共有	重点目標3「ふくしの森」がひろがる情報の発信と共有	重点取組3情報の発信と共有	あらゆる機会を通じて「ふくしの森プラン」を周知	ふくしの森プラン周知の推進体制の整備		広報係(仮称)の設置			
								ふくしの森周知動画の作成		SNSの運用			
								ふくしの森プラン周知啓発品の作成		動画の作成			
							「ふくしの森」の情報を共有できる様々なイベントを開催	ふくしの森プラン周知啓発品の作成		周知啓発品の作成、配布			
								ふくしフェスの開催		事業の実施			
								正しくつながるためのSNS使い方講座		事業の実施			
							「ふくしの森」の情報を～「ふくしの森マップ」の作成	ふくしの森地区別懇談会の開催					
								福祉関係事業者懇談会の開催					
								紙媒体での作成		ふくしの森マップの作成、配布			
電子媒体での作成		運用開始											
福祉センターや～「ふくしの森」の情報コーナーを設置		情報コーナー設置		発信内容、場所の検討、設置									

基本目標	基本施策	施策内容	重点目標に位置づいている「具体的な施策内容」	「社協の重点取組み」に位置づいている取組み	主な取組み	具体的な取組み内容	年次計画						
							令和1(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)		
					事業所、店舗など～情報発信を促進	事業所等との協働による情報発信	動画の作成	DVDプレーヤーの貸し出し					
							協力事業所の把握と掘り起こし	企業等への働きかけ					
							情報発信媒体の検討(DVDプレーヤー購入等)						
					「ふくしの森」の情報SNS～市民の情報発信を支援	情報発信と共有の推進		SNSの運用					
						飯能市役所HPへのバナー広告掲載		バナー広告の出稿？					
						ふくしの森プラン周知ページのリニューアル		ふくしの森プラン周知ページの公開					
基本目標2【交】 交流が生まれる居場所と地域の移動・交通をつくらう	1 交流の機会づくり	(1) 地域の居場所などの交流の場づくり	重点目標1 誰もが安心できる居場所づくり		社会福祉法人～地域の居場所づくりを支援	社会福祉法人の地域における交易的な取組との連携	管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」の開催	実務者級職員による協働の取組の事例紹介	—	—	—		
						フードバンクとの連携支援							
					居場所づくりのため、空き家や空き店舗などの活用	空き家、空き店舗活用の検討	多職種、他分野の参画による検討会の設置	空き家運用制度の運用開始					
					「食」を通じた居場所づくりへの支援を強化	財政的支援の見直し	補助要綱の充実(子ども食堂含む)						
						フードバンクとの連携							
						安全の確保							
		(2) 意見を交わせる場づくり			ふくしの森地区別懇談会～地域でできることを考える機会	ふくしの森地区別懇談会の開催	福祉関係事業者懇談会の開催			—			
	地域の住民や～ふくしの森圏域ごとの活動計画づくり	ふくしの森圏域ごとの活動計画づくり											
	話し合いの進め方に関する学習の機会を提供	ファシリテーション研修の開催											

基本目標	基本施策	施策内容	重点目標に位置づいている「具体的な施策内容」	「社協の重点取組み」に位置づいている取組み	主な取組み	具体的な取組み内容	年次計画							
							令和1(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)			
	2	地域の移動・交通の充実	重点目標1 誰もが安心できる居場所づくり		地域福祉推進組織へ 支え合いの外出の機会づくりや活動を支援	社会福祉法人の地域における公益的な取組との連携	管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」の開催	実務者級職員による協働の取組の事例紹介						
					支え合いによる外出支援の学習会を開催	支え合いによる外出支援の調査研究								
						学習会の開催			ふくしの森サポーターと連動した学習会の開催					
					福祉関係事業所や～ 外出支援の協力を呼びかけ	社会福祉法人の地域における公益的な取組との連携	管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」の開催	実務者級職員による協働の取組の事例紹介						
(2) 外出しやすい環境づくり	福祉移送サービスの充実	福祉移送サービスの充実	車両の更新	運転士の増員による事業の充実	—	—	—							
		車いすの貸出や福祉移送サービスの充実	車いす貸出事業の充実	ふくしの森STでの貸出 要綱の制定										
1	地域で支え合う人の育成	(1) ふくしの森サポーターの創設			登録制度の創設		サポーター制度の運用開始							
					サポーター活動の支援		サポーターの情報共有の仕組みの検討、実施（SNS）							
					サポーター制度の啓発	サポーター制度の周知								
					新たな活動者の発掘		サポーター養成研修（年2回）の開催							
		(2) ボランティアの育成	ボランティアセンター機能の充実を図る	ボランティアの継続的な育成	地域活動者とともに、小地域活動サミットへ参加	サポーター勉強会の実施								
				ボランティア登録の促進		サポーター制度と連動したボランティア登録制度の運用								
				データベースの充実		新規システムの導入、運用								
				ボランティア講座の充実										
ボランティア講座を充実し、育成を進める	ボランティア体験プログラムの充実													

基本目標	基本施策	施策内容	重点目標に位置づいている「具体的な施策内容」	「社協の重点取組み」に位置づいている取組み	主な取組み	具体的な取組み内容	年次計画						
							令和1(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)		
基本目標3【支】 支え合いの仕組みをつくらう	2 支え合いの地域づくり	(1) 地域福祉推進組織の全圏域での設立	重点目標4 「ふくしの森」を育む人の充実	重点取組2 「ふくしの森サポーター」の創設と育成	CSWを「ふくしの森」全圏域に～地域福祉推進組織の設立の支援体制を強化	内部的な取組	CSW増員計画の作成	CSWの段階的な増員	—	—	—		
						対外的な取組	CSW事業規程の作成、運用						
							設立に向けた具体的な支援活動	市へ補助金の増額、委託事業化について要望					
		(2) 地域福祉推進組織の活動の充実			ふくしの森STを～地域福祉推進組織設立の支援体制を強化	ふくしの森ステーションの増設	CSW増員に合わせたSTの増設						
						CSWを中心に、地域福祉推進組織の活動を支援	財政的な支援						
							技術的な支援						
		(3) 自治会との連携			地域福祉推進組織交流会～相互交流や情報共有を充実	情報提供							
						地域福祉推進組織交流会の開催							
						その他の情報共有							
		(4) 民生委員児童委員協議会との連携			自治会が実施する福祉に関する活動を支援	社協版“出前講座”による支援	出前講座のメニュー作成						
						民生委員児童委員協議会の活動を支援	静かな見守り活動の充実						
						福祉関係事業者や～福祉関係事業者懇談会を開催	交流イベント（ふくしフェス）の開催						
		福祉関係事業者懇談会の開催											
		(5) 多様な活動の連携			社会福祉法人の地域における公益的な取組との連携強化	地域における公益的な取組の促進	管理者級職員による「公益的な取組に関する意見交換会」の開催	実務者級職員による協働の取組の事例紹介					
						社会福祉法人との連携強化	管理者級職員による交流会の開催						
社会福祉協議会の特別会員などと連携し、地域福祉活動を広める	特別会員との連携		出前講座のメニュー作成										
	特別会員の増強		特別会員のメリットをPRすることによる会員増強の取組										

基本目標	基本施策	施策内容	重点目標に位置づいている「具体的な施策内容」	「社協の重点取組み」に位置づいている取組み	主な取組み	具体的な取組み内容	年次計画				
							令和1(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)
基本目標4【安】 安心して暮らせる 仕組みをつくらう	1 相談支援体制の 強化	(1) コミュニティソー シャルワーカーの充 実	重点目標2 一人ひとりの相 談を受けとめ協 働で支える体制 づくり  重点目標4 「ふくしの森」 を育む人の充実	重点取組1 CSW及びふく しの森ステー ションの充実	CSWをすべてのふく しの森圏域～地域課 題の解決に向けた取 組	内部的な取組	CSW増員計画の作成	CSWの段階的な増員			
							CSW事業規程の作成、 運用				
					CSWをすべてのふく しの森圏域～身近な 相談支援を充実	ふくしの森ステー ションの増設	CSW増員に合わせたST の増設				
						事業を活かした周知					
					CSWとふくしの森ST の役割や活動につい ての周知を図る	グッズ等を活用した 周知	配布品(クリアファ イル等)の作成、配 布				
							設置品(のぼり旗 等)の作成、配布				
		(2) ネットワークによる 相談支援体制の強化	重点目標2 一人ひとりの相 談を受けとめ協 働で支える体制 づくり	複合的で複雑な課題 を解決するため～総 合的な相談支援体制 を強化  ふくしの森圏域ごと に相談支援者会議を ～定期的開催  相談支援者を対象と した合同研修会や学 習会を開催  社会福祉現場実習の 継続的な受入  社会福祉士など専門 職の現場実習に協力	重点取組1 CSW及びふく しの森ステー ションの充実	ネットワークの整備	福祉関係事業者懇談 会の開催				
						総合的な相談支援体 制の強化	相談記録を共有する システムの導入				
						地域連携会議の定期 開催	地域連携会議の段階 的設置と定期開催				
						合同研修会及び勉強 会の開催	必要に応じて新規事 業の検討、設置				
						社会福祉現場実習の 継続的な受入					
						現場実習の受入体制 の充実	実習指導者講習修了 者の増員(2名)	実習指導者講習修了 者の増員(1名)			
その他の実習等の受 入											

基本目標	基本施策	施策内容	重点目標に位置づいている「具体的な施策内容」	「社協の重点取組み」に位置づいている取組み	主な取組み	具体的な取組み内容	年次計画							
							令和1(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)			
	2	権利擁護の推進			成年後見支援センターの充実を図り、関係機関との連携を強化	センター機能の充実	設置規程の整備、運用							
						中核機関に関する協議								
		市民後見人養成講座の継続的な開催												
		受講促進のための周知												
		(2)			成年後見制度に関する取組の充実		法人貢献事業の充実を図る	事業体制の強化	専従する後見支援員の設置 後見支援マニュアルの作成					
								他機関との連携強化						
	3	防災・防犯の地域づくり			(1)		災害VCを円滑に運営するため、災害VC運営訓練を実施	運営訓練の継続的な開催			サテライト設置を想定した訓練の検討、実施			
4	すこやかに暮らせる地域づくり	(1)		保健師や管理栄養士などと連携し、～活動支援を充実	地域保健活動との連携強化									
					地域保健活動への協力									